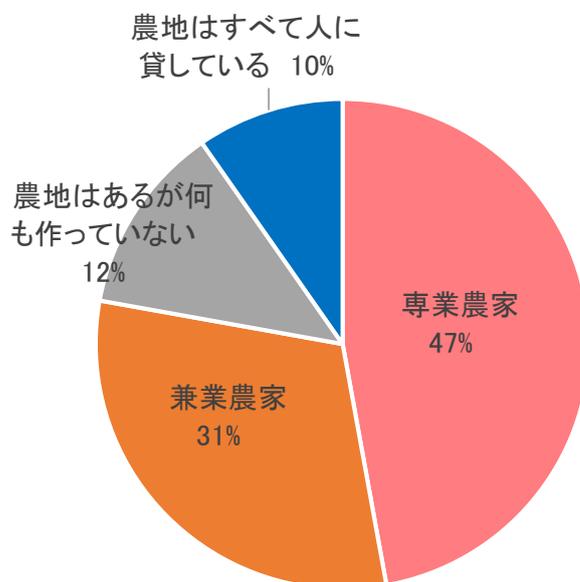


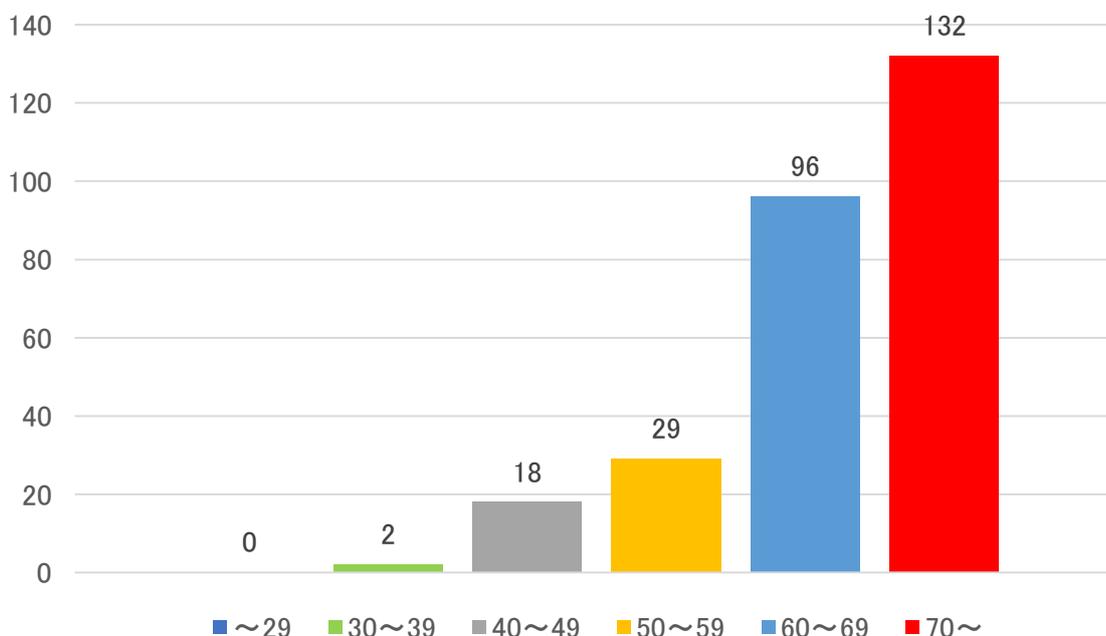
## 地域農業の将来に関するアンケート結果<本庄地区>

対象者総数 306 回答者数 176 回答率 57.5%

(1) あなたの農業形態を教えてください。



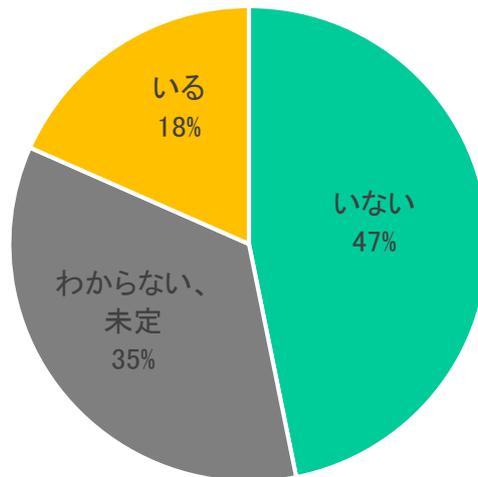
経営者年齢分布図(単位:人)



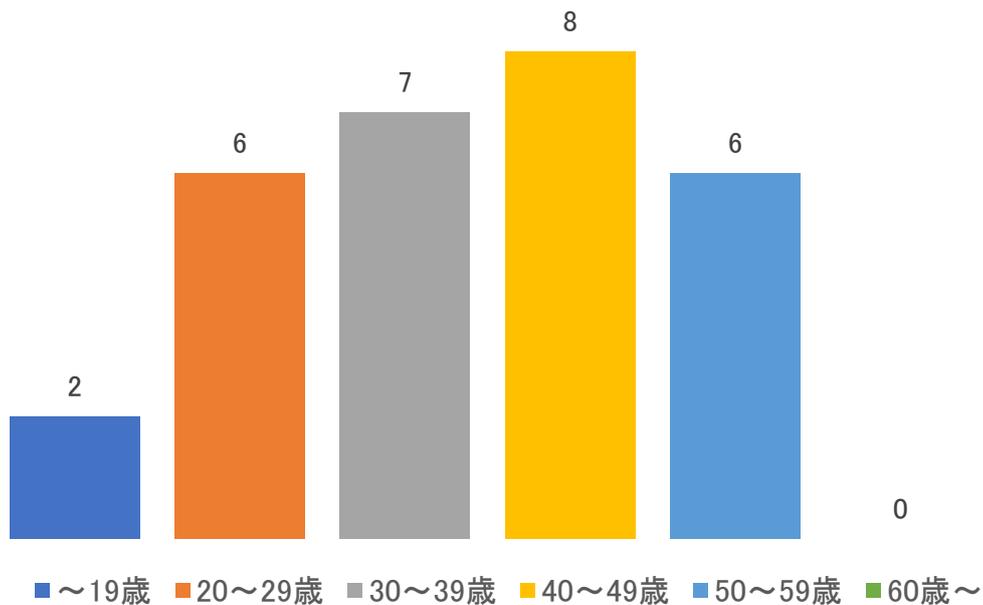
※経営者年齢は農家台帳システムおよびアンケート回答から集計した。

地域で耕作している人は、専業・兼業併せて 78%を占める。経営者の年齢を分布図で見ると、70歳以上の経営者が 47.6%を占め、20代、30代の若年層が特に少ない。

(2) あなたの農業の引き継ぎ手はいますか。

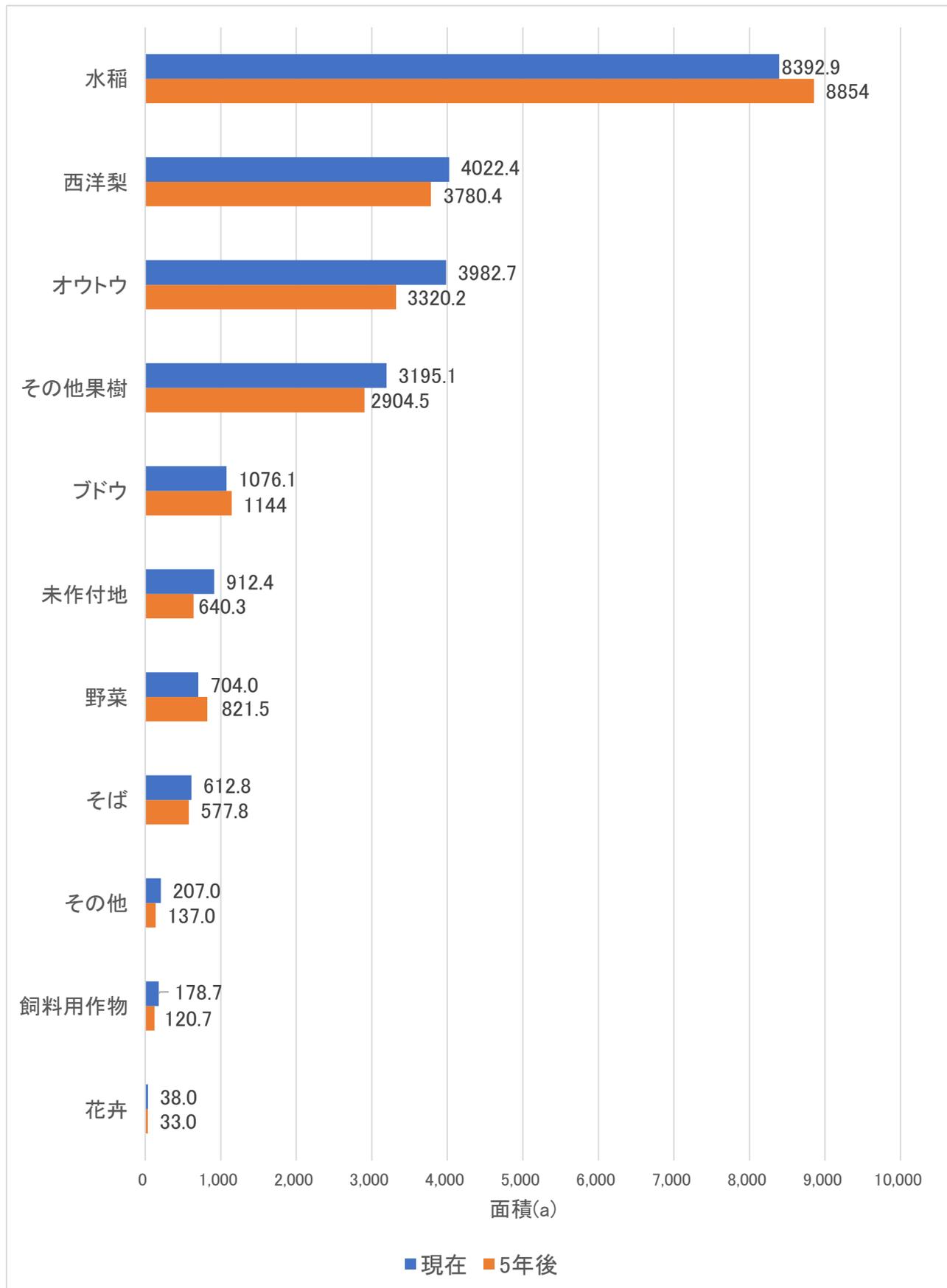


(2) 後継者年齢分布図(単位:人)



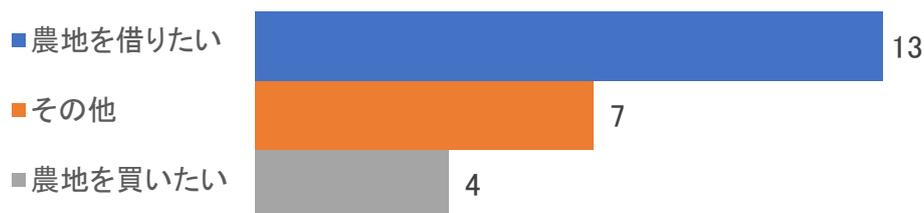
農業の後継者が「いる」と答えた人は 18%で、その年齢を見ると 40 代が最も多いが 20 代・30 代の若年層の後継者も比較的多く潜在することがわかる。

(3) あなたの現在と将来の農業構成を教えてください。(グラフ数値は地区全体の合計面積(a))



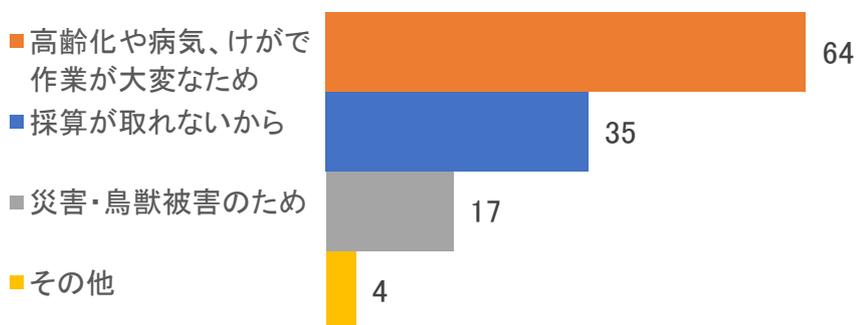
水稲は現状と比較して461a増やす意向があるものの、果樹類は合わせて1割(1,127a)減らす意向がある。全作目の経営面積は合計して4.8%(717a)減る見込み。

(4) (規模拡大したい方へ)規模拡大の方法はどのようにお考えですか。(複数回答可。単位:人)



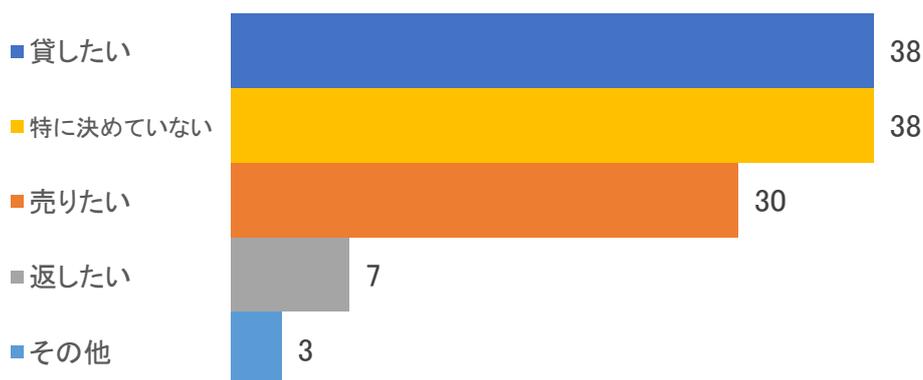
※その他記載欄…  
「未作付地に作付け」  
「規模縮小した農地を転作」

(5) ①(栽培をやめたい、縮小したい方へ)理由は何ですか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…  
「人手の確保が大変なため」、「一部作業委託ができなくなるため」  
「高齢化に加え、息子の考えが未定のため」  
「労力不足」

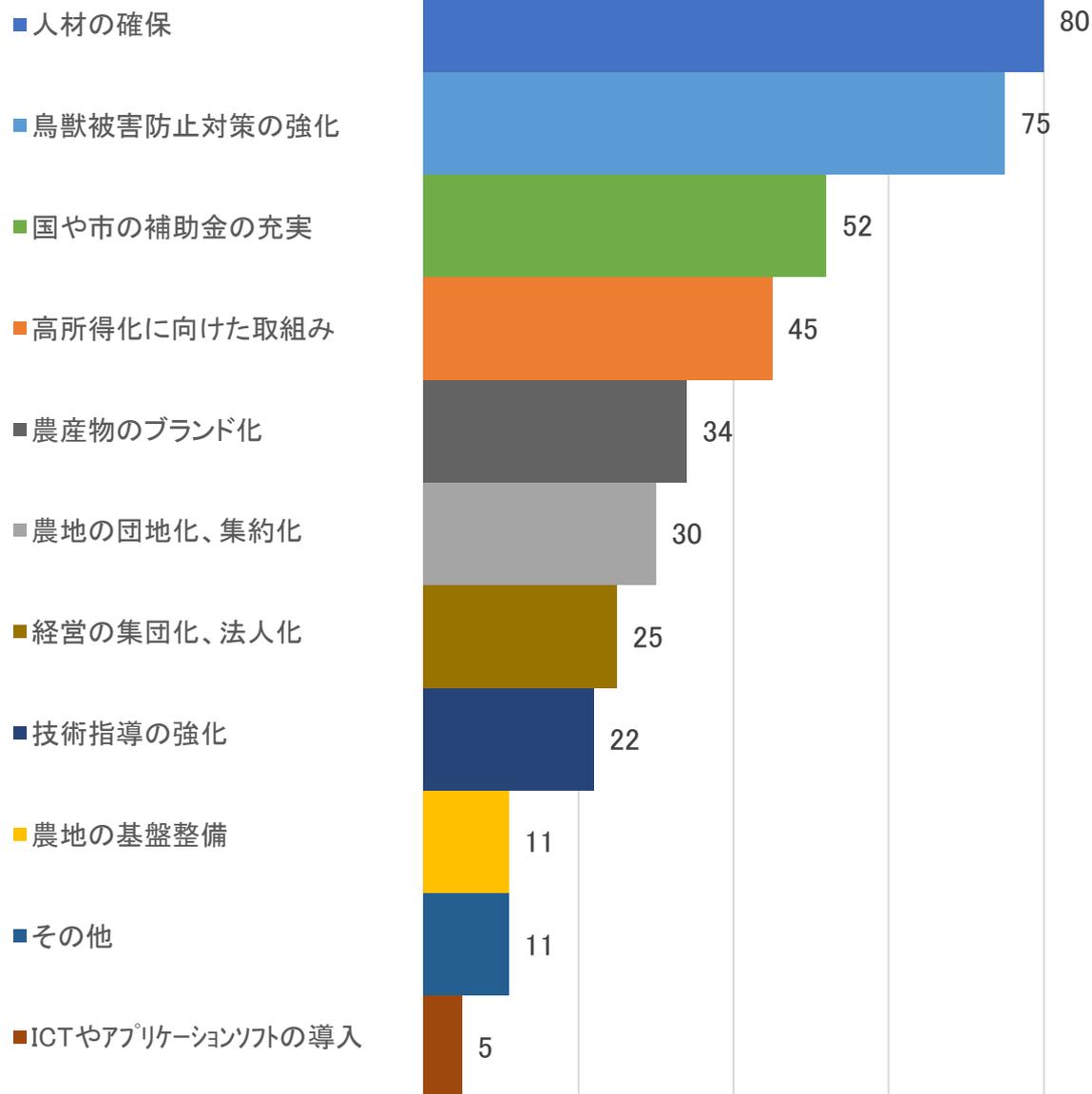
(5) ②(栽培をやめたい、縮小したい方へ)栽培をやめた、あるいは規模を縮小したあと、農地はどうしたいですか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…  
「ほかの作物への転換」  
「田んぼは売り、畑は自家用の野菜作りで使いたい」

規模縮小の要因は高齢化や傷病など、身体的な理由によるものが大多数を占める。栽培をやめた後の農地については、貸す・売るなどしてほかの人に耕作してもらいたいという人が多いものの、「特に決めていない」も回答の33%を占める。

(6) 今後の地域農業のために、何が必要だと思いますか。(複数回答可。単位:人)



※その他記載欄…「資材が高価である」、「農道のインフラ整備を早めに」、「退職後働ける場所」「今の国策を改め、農林漁業を大切に作る国策にする」、「森の資源、森林を産業に結び付ける政策、活動力を」、「土地の名義変更を簡単にしてほしい。固定資産税の名義は勝手に変更するのにはいかなものか」

今後の地域農業に必要なものとして、「人材の確保」「鳥獣被害防止対策の強化」を挙げている人が特に多い。また、補助金の充実やブランド化をはじめとする農業所得の増大につながる取り組みが必要だとの意見も多い。